

●いまどきのデジカメ事情③

好調を続けてきたコンパクトデジカメの市場も、かげりが見えてきたことは皆様ご存知のことだと思います。京セラがデジカメ事業から撤退を表明し、ほとんどのメーカーが業績を下方修正するなど、顕著に現れています。あまりにも短期間で新製品を投入するなど、メーカー自身の責任も大きいと思います。しかも、画素数を増やただけでデザインや基本性能は同じであったり、画素数が増えたために撮影感度が下がってしまったりと魅力のない機種が多いのも事実です。また、すでに所有されているユーザーも、数万円も出して購入したものを短期間で買い換えるわけもなく、ごく一般の方は携帯電話のカメラ機能で満足し、より良いものを求める方は一眼レフデジカメに注目しているので販売数が落ち込むのも当然の結果だと思います。

そんな中、メーカーも魅力ある新機能を搭載して改善しようとしています。昨年秋に販売数1位を記録したパナソニックの手ぶれ補正機能付などは、良い例だと思います。そして、この度、富士フィルムが発売した Finepix F10 は、常用感度 ISO400 を

実現した画期的なデジカメです。高画素化されたデジカメは、のきなみ ISO50 と低感度になり、手ブレやストロボの光量不足をまねき「ちゃんと写らない。」原因でした。もちろん感度を上げる機能はあったのですが、感度を高くすると醜いノイズが出てしまい画質を悪化させてしまいます。その点、Finepix F10 は 600 万画素で高感度ながらノイズのない高画質を実現していて、一般の方が日常のスナップ写真を撮影するコンパクトカメラの本来の姿だと思います。現時点ではオススメ度 No.1 のデジカメです。

ニコンの新製品 4 機種も顔認識 AF と暗い部分を自動補正する新機能を搭載して面白い存在です。顔認識 AF とはカメラが人の顔を判断して、その位置にピントを合わせるというユニークな機能です。これにより、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてからカメラを構えなおすという動作をしなくても、構えてそのまま撮影する事ができます。

このような魅力ある機能を搭載した機種を長いサイクルで販売してもらえることを切に願う次第です。

●インクジェット用ペーパー新製品

富士フィルムの『画彩』シリーズに『写真仕上げ Pro』と『高級光沢紙』が新たに加わりました。どちらも従来製品や他社製品をしのぐ光沢感と画像の先鋭度を実現した製品だとメーカーは自画自賛していますが、知り合いのカメラマンがテストしたプリントを見ると確かに良いと思います。使用されたプリンターはエプソンの一般向け最上位機種 PX-G5000 ですがが顔料系インクにもマッチしているようです。『写真仕上げ Pro』は印画紙の RC ペーパーと同じ支持体を使用していて従来製品より厚みも増してい

ます。『高級光沢紙』は一般的なインクジェット厚手用紙ですが、インクの浸透性などが改良され低価格ながら写真用としても使用できると思います。サイズは『写真仕上げ Pro』が L・2L・ハガキ・A4・A3・A3 ノビの 6 種類。『高級光沢紙』は A4 のみです。ただし、はっきり申し上げて 2L 以下のサイズならハナ勘などのお店プリントの方が断然お得ですし、大きいサイズでも納得する色が出せずに何度もやり直しているとインク代がバカになりません。

●ハナ勘デジカメ講座—使いこなそうデジタル一眼レフ— 好評開催中!

昨年 10 月より月 1 回、開催していますデジカメ講座です。原則として毎月第 4 金曜日の午後 6 時より、デジタル一眼レフの使い方や画像処理、プリントの方法などを説明しています。興味のある方は、お気軽にご参加ください。

過去のテーマにつきましては、個人指導で対応しています。

- ①目的に応じたデジカメの設定 ②基本的なデジカメの構造
③モニタとプリンタの色合わせ ④RAW現像の基本

※複数の内容をまとめて受講できます。1 回 ¥5,000

第 6 回デジカメ講座

日 時 : 3 月 25 日 (金) PM18 : 00 ~

場 所 : ハナ勘地下ホール

内 容 : RAW 現像の実践 2

受講料 : ¥2,000

※詳しくは、お問合せください。